

第30回クリーンセンター滋賀環境監視委員会会議概要

1. 日時 平成26年8月5日(火) 14:15～16:15

2. 開催場所 クリーンセンター滋賀 研修室 他

3. 出席者 環境監視委員

学識経験者: 金谷委員長

住民代表: 中島(茂)委員、東委員、中邨委員、
渡邊委員、中島(仁)委員

事業者: 乾委員、深川委員

滋賀県: 青山委員

甲賀市: 福井委員、佐治委員、矢田委員

事務局: 公益財団法人滋賀県環境事業公社

中村副理事長、田中所長、奥野次長
木村副所長、西村参事、居川主査



4. 議事概要

(1). あいさつ(公社 副理事長)

(2). 活動内容報告

1) 水質調査結果について.....資料1

2) 硫化水素自主測定結果について.....資料2

3) 搬入実績について.....資料3

4) その他(放射線の自主測定結果について、現地視察等).....資料4

【主な意見および質疑】

(水質検査結果について)

・地下水の採取地点3か所を5年間比較した「水素イオン濃度」「塩化物イオン」のグラフと比べて、「電気伝導率」のグラフでは上流と下流で差があるように見える。イオンバランスなどを調査するなどして、電気伝導率の差が生じる理由を施設側が説明される必要があると考えられる。差の原因が何かを調べる方法がないなら、浸出水が浸透していないと言えなくなり難しい問題となるため、データ等を検討願いたい。

→ご指摘のあった差について、原因を探ることとします。

(硫化水素自主測定結果について)

・地点13のガス抜き井の筒内の値と連続測定結果の値は測定位置が違うからとしても、連続測定は1分間平均値でなく瞬間最大値を採り、どれくらいの頻度であったか見るべきだと考えられる。大事なものは、瞬間値だと考えられる。労働環境の安全確保としてデータを見るなら、瞬間値を見えるようにした説明が必要だ。

・ガス抜き管から出たら風で希釈されるが、安全作業範囲の確認のため、濃度や広がりデータは丁寧に作ったほうが安全性の説明と理解が得られる。また、安全作業の確保について労働基準監督署など所管窓口に相談などされてみることも有効だと思われる。

→作業の安全を考慮し、警戒の表示や防御マスクの着用など作業指示を再確認します。また、ご意見に沿って計測方法を変えて、適切な把握方法を探ります。

(搬入実績について)

・搬入量の変化については、どのような要因があると見られているのか？

→搬入制限を解除したことにより、ある程度増加することは予想していたが、近隣の処分場が値上げした影響や運送コストの上昇、景気昂揚施策等の影響もあり、契約や搬入量が大きく増加した要因と考えています。

・搬入量が増加したことにより、安全対策がおろそかにならないようお願いしたい。

→作業員、重機を追加するなどして対応しております。

(その他について)

・放射線については、測定にそれほど手間がかかるものではないので、安全確認の意味で継続していただきたい。

・埋立地上部から現在の埋立状況を視察。



◎次回、環境監視委員会は12月ごろに開催予定。